

徳島市立高演劇部が、徳島市のあわぎんホールであった「第41回四国地区高校演劇研究大会」で、最優秀の文部科学大臣賞に輝いた。1年前の部員3人という

状況乗り越え、1、2年生10人で挑んだ今大会。高校の事務室が舞台の生徒創作劇「どうしても縦の蝶々結び」を熱演し、最高の評価を得た。

徳島市立高演劇部 四国大会で最優秀

学校事務室舞台 人間ドラマ好演



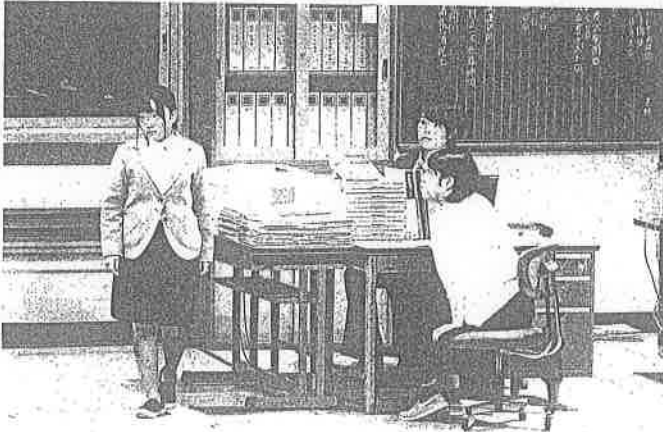
四国大会で最優秀賞に選ばれた徳島市立高演劇部

演技力やリアルさ 高評価

大会には県内3校を含、どもの貧困問題という身
むり校が出場した。徳島 近なテーマや社会問題も
市立高の「どうしても」盛り込んだ。
は、高校の事務室で働く 2年の林彩音さん(17)
若い臨時職員が主人公。を中心に、部員たちでア
事務室の雰囲気細かく、アイデアを出し合って脚本
再現し、事務員の日常、を仕上げた。個性のある
教員とは違う生徒との関 劇にするため、作品にな
わりといった人間ドラマ ることが珍しい学校の事
を描いた。将来の夢と子 務室を舞台に選んだ。制
が手作りのした。

演劇部を支えてきた。最
高の結果に、仲間たちと
喜びを爆発させた。大川
さんは「愛のある作品に
しようと全員で取り組ん
だので、評価されてうれ
しい。貧困問題にも自分
たちなりに真剣に向き合
い、同年代の人たちに身
近な出来事を感じてもら
客を引きつけた。審査員
は、作品の世界に引き込
むリアルな舞台装置、生
徒の個性に適した配役、
迫力ある演技を高く評
価。満場一致で1位に選
んだ。
主演の2年大川瑠璃さ
ん(17)、演出担当の2年
町田衣乃里さん(17)は、
林さんとともに昨年から
(橋本真珠)

大会では、登場人物の
心の動きや反心を細かに
表現。笑いの要素もあり
ながら、シリアスなシー
ンも情感豊かに演じ、観
客を引きつけた。審査員
は、作品の世界に引き込
むリアルな舞台装置、生
徒の個性に適した配役、
迫力ある演技を高く評
価。満場一致で1位に選
んだ。
主演の2年大川瑠璃さ
ん(17)、演出担当の2年
町田衣乃里さん(17)は、
林さんとともに昨年から
(橋本真珠)



生徒創作「どうしても縦の蝶々結び」を演じる
徳島市立高演劇部 徳島市のあわぎんホール